

麻酔科



麻酔とは、体に痛み刺激が加わったとき、痛みを全く感じなくする方法です。

麻酔科医は、手術が安全に受けられるように、**皆様の守り役**をしています。

全身状態の問題点(不整脈、糖尿病など)を手術前の診察で知っておき、

手術中の麻酔をし、**手術後の痛みを和らげる**、という三つの段階で、

手術の原因以外にかかっておられる病気(合併症)の影響も考えながら、手術方法に一番適した全身管理を選んで行っています。

麻酔には、全身麻酔(全身のどこに痛み刺激を与えても感じなくなる)や、局所麻酔(体の一部のみが痛み刺激を感じなくなる)があり、それぞれの麻酔のやり方は、日本麻酔科学会のホームページでもご覧いただけます。

…………手術をより安全に、より楽に受けるために、

予定手術の最低 2 週間前からの**禁煙**をお願いしています。禁煙すると、手術中のみならず手術後も痰の量が減り、楽に呼吸ができるようになります。

口腔ケア(歯磨き、虫歯の治療をすませる)も手術後の肺炎などの感染症の予防になるため、手術が決まったら積極的に行ってください。

また、**いつも飲んでおられるお薬**をお知らせください。血が止まりにくいと、脊椎麻酔などの背中からの麻酔ができないことがあります。

麻酔のことでわからないこと、気になることがあれば、お声かけください。少しでも楽に療養できるように、ともに考えて行きましょう。